

学校教育目標

自ら学び 支え合い
たくましく生きる子の育成

令和6年度 3月号

TEL 7184-1171

令和6年度 学校評価アンケート結果について

令和6年度学校評価につきまして、ご協力ありがとうございました。アンケート結果についてお知らせします。

皆様からお寄せいただいた評価及びご意見につきましては、来年度に向けて振り返り、職員一同改善の視点を念頭に前向きにとらえ、今後の教育活動に生かしてまいります。

また、3年目を迎える本校の学校運営協議会においても委員の皆様の評価とご意見を参考に協議し、次年度の学校経営方針を作成してまいります。

1. 実施日 保護者・教職員・児童 令和6年1月17日(金)～1月24日(金)

2. 実施者及び回答率

	配付数(人)	集計数(人)	回収率
教職員	39(回答対象者)	36	92.3%
保護者	712(児童数で回答)	544	76.4%
児童	712	718	100.8%
全体	1463	1298	88.7%

※同じ児童が複数回回答したケースにより、児童の回収率は100%を超えています。

3. 学校運営協議会委員による学校評価の取組自体への評価(学校運営協議会2/26実施)

評価項目	良い	おおむね 良い	あまり 良くない	良くない
① 学校評価の流れについて	100%	0%	0%	0%
② 評価項目の妥当性について	100%	0%	0%	0%
③ 評価の客観性について	100%	0%	0%	0%
④ 評価に基づく改善について	83%	17%	0%	0%
⑤ 情報の公開について	83%	17%	0%	0%

4. 集計結果の見方について

- 集計結果の設問の文言は、児童アンケートに合わせています。教職員と保護者は、それぞれの立場に読み替えてご覧ください。

(例) 児童…「学習はわかりやすく、学んだことが身についている。」

保護者…「お子さんは、学習内容が身についている。」

教職員…「児童は、学習内容が身についている。」

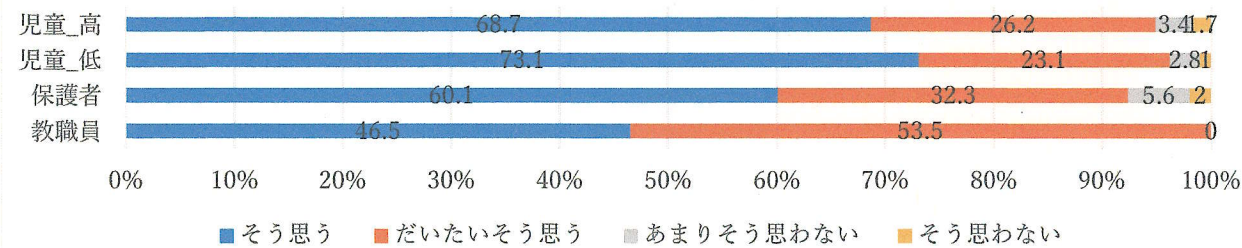
- 左側が今年度(R6年度)の結果、右側が昨年度(R5年度)の結果になっています。経年変化をみとるための資料としてもご活用ください。



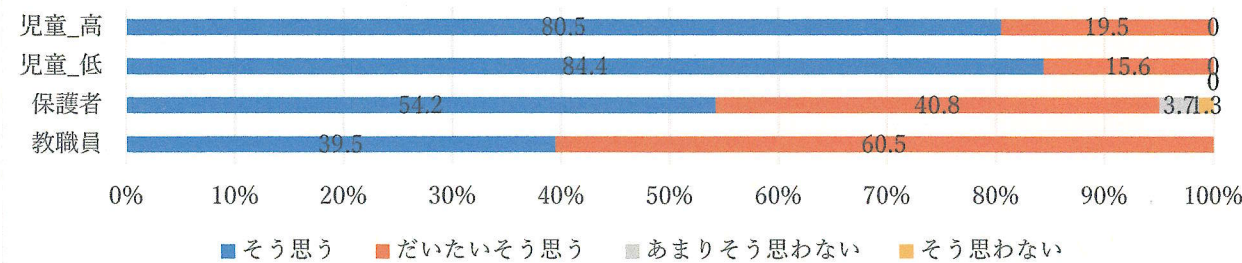
5. 令和6年度の結果



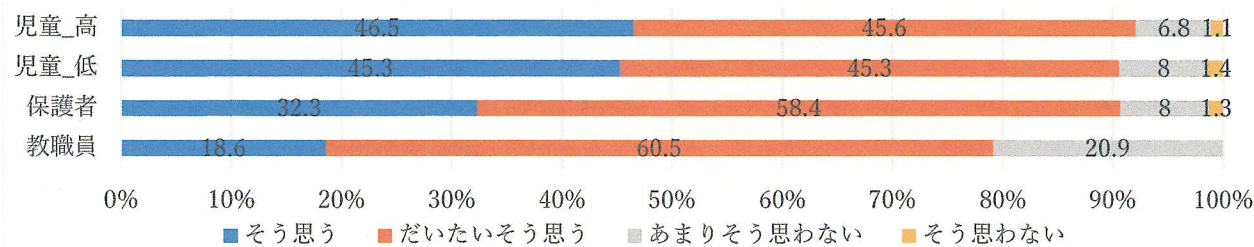
Q1. 学校に楽しく通っている。



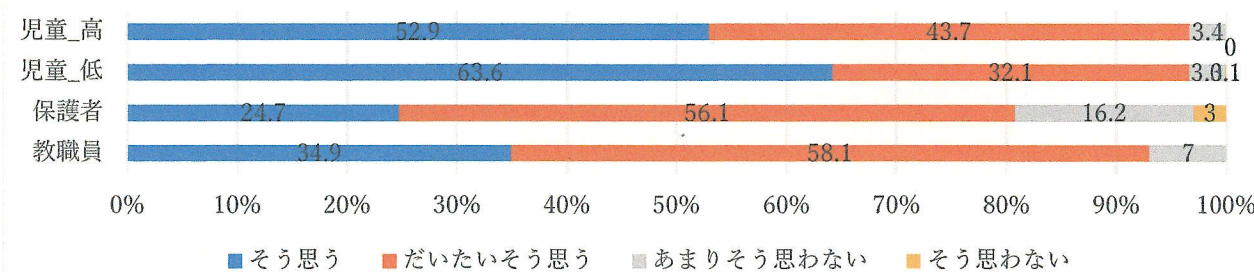
Q2. 友だちを大切にして、仲良く過ごしている。



Q3. あいさつや返事を進んですることができる。



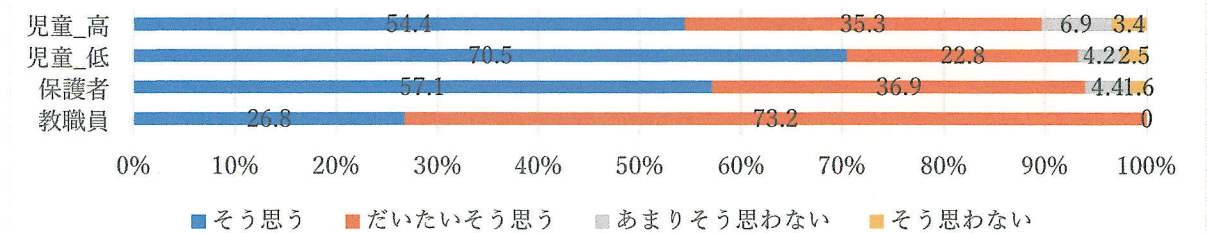
Q4. 決まりを守って生活している。



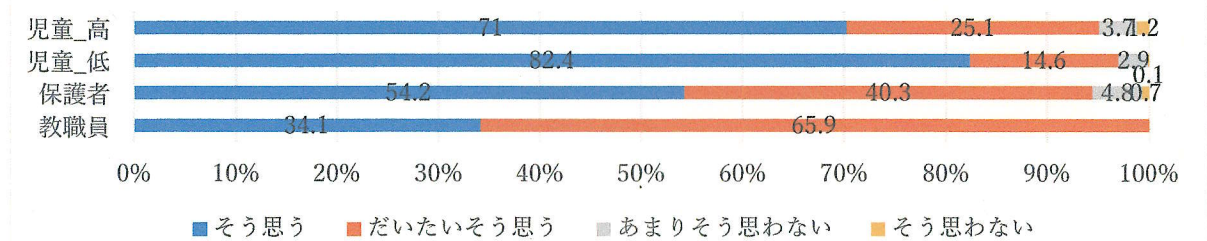
令和5年度の結果



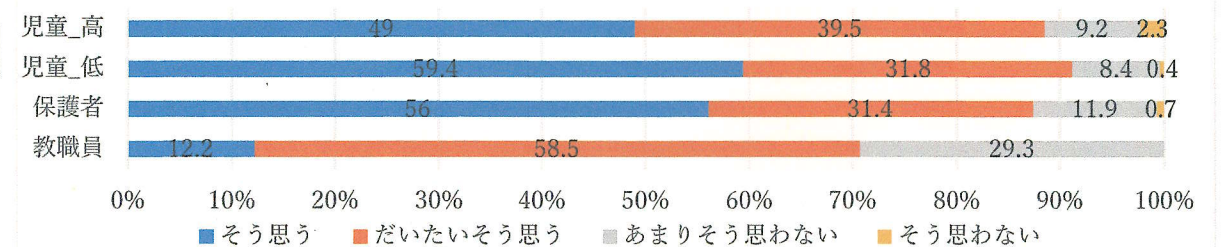
Q1. 学校に楽しく通っている。



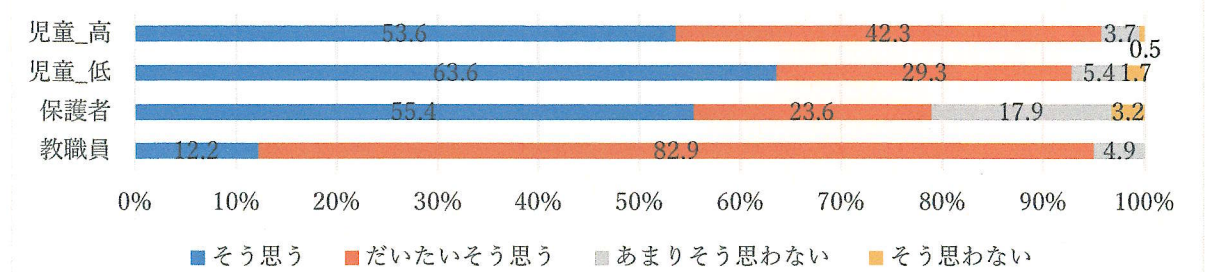
Q2. 友だちを大切にして、仲良く過ごしている。



Q3. あいさつや返事を進んですることができる。

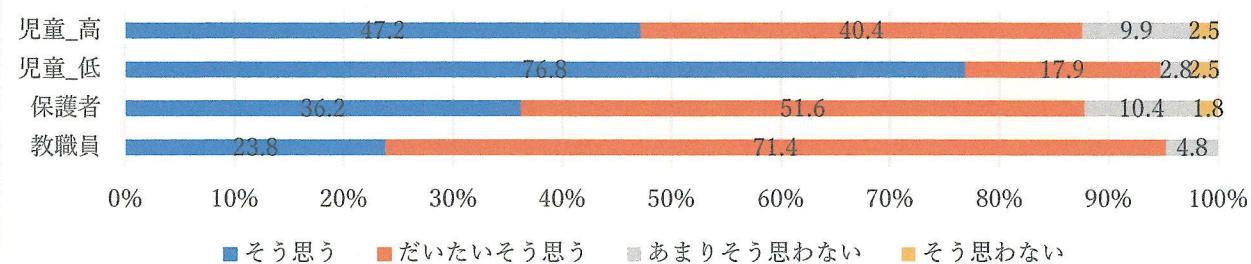


Q4. 決まりを守って生活している。

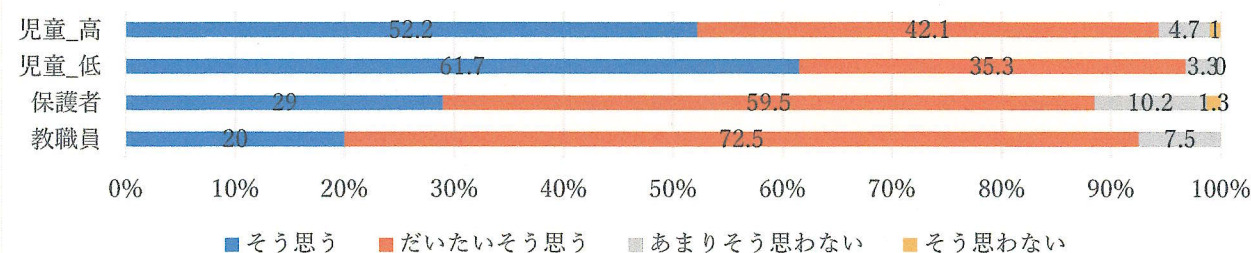




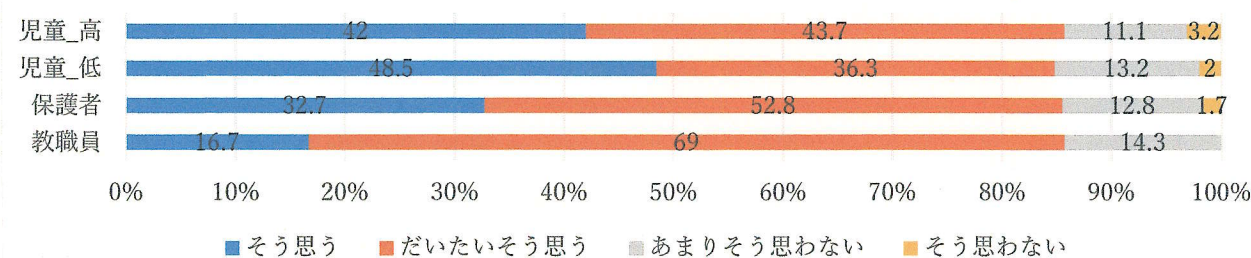
Q5. 学習は楽しく、いろいろなことに興味がわく。



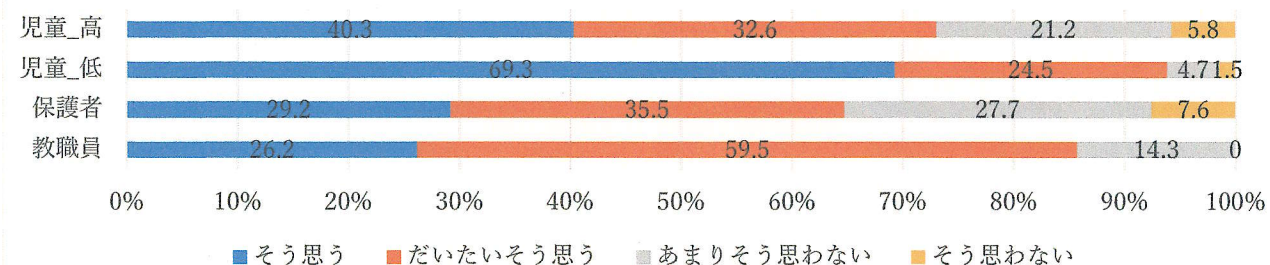
Q6. 学習はわかりやすく、学んだことが身についている。



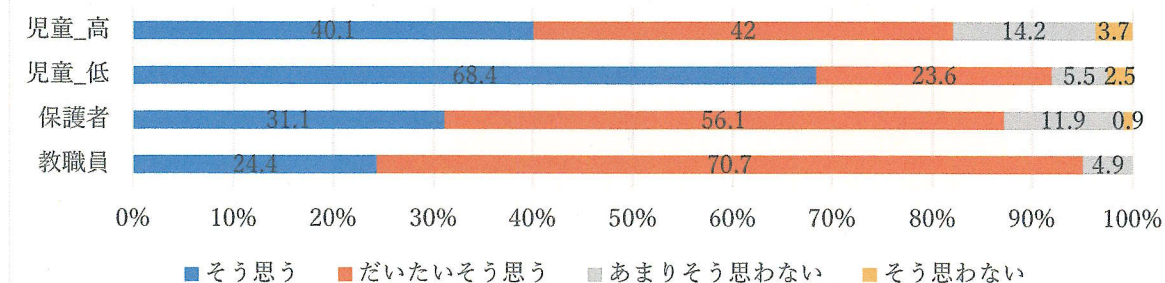
Q7. 自分の考えを書いたり話したりして伝えることができる。



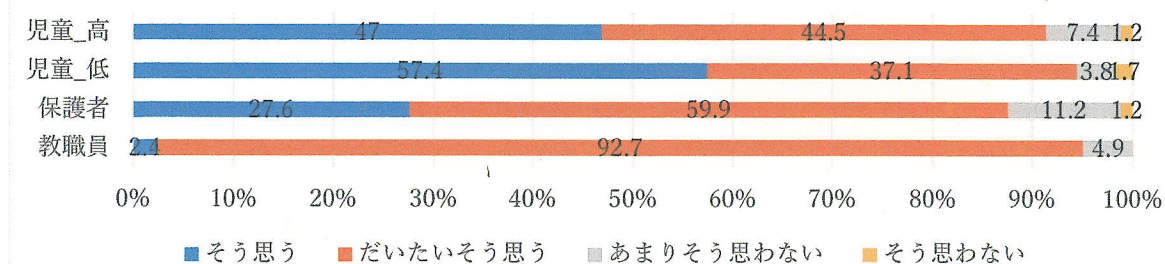
Q8. 自分から進んで読書をしたり、読み聞かせを楽しんだり、図書室を使ったりしている。



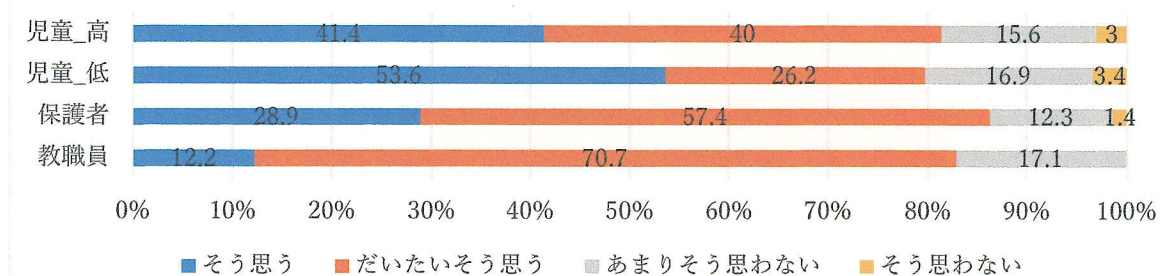
Q5. 学習は楽しく、いろいろなことに興味がわく。



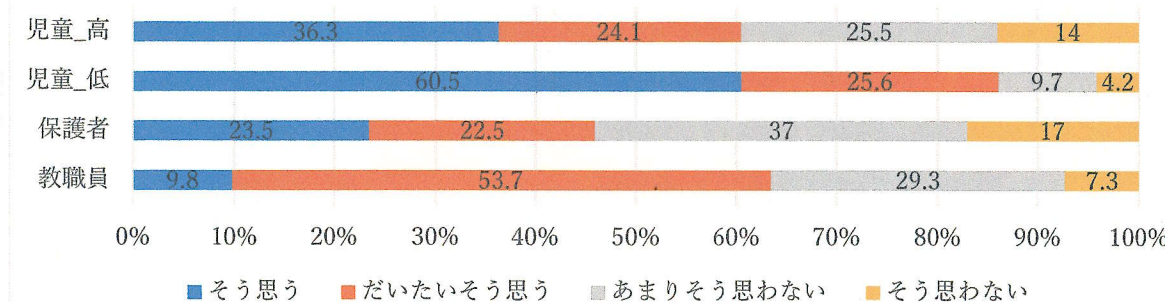
Q6. 学習はわかりやすく、学んだことが身についている。



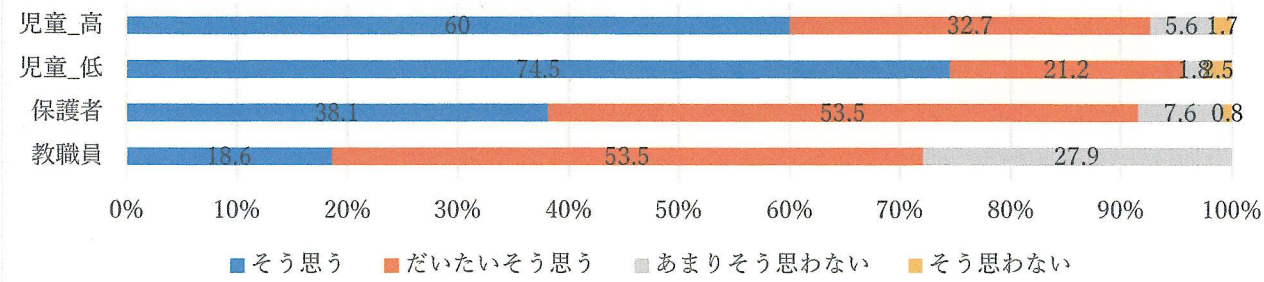
Q7. 自分の考えを書いたり話したりして伝えることができる。



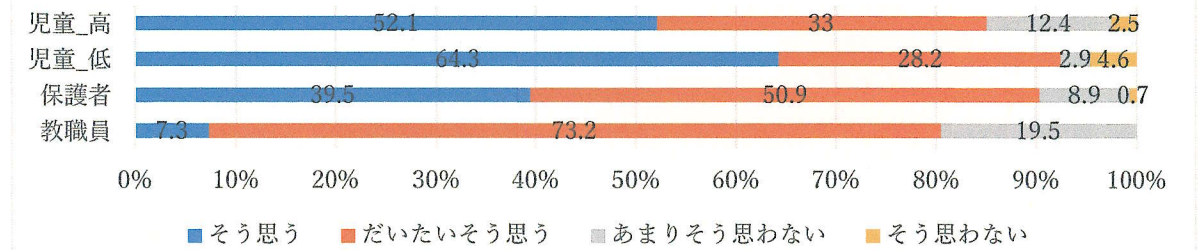
Q8. 自分から進んで読書をしている。



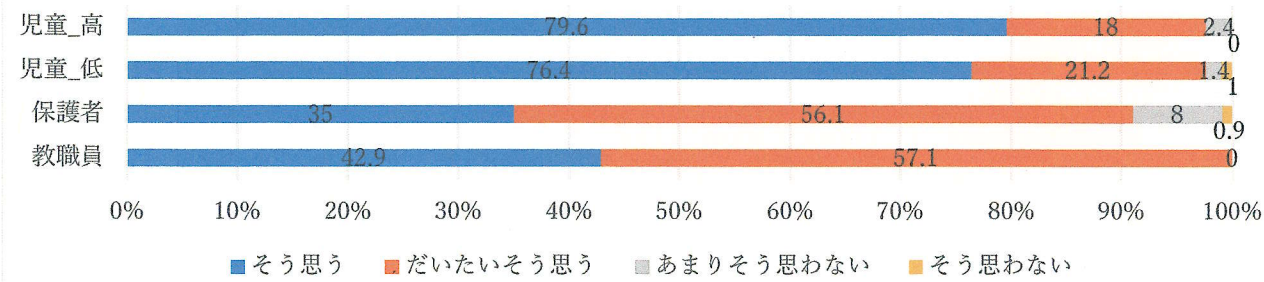
Q9. 自分は青信号でも左右を確認するなど交通安全に気をつけている。



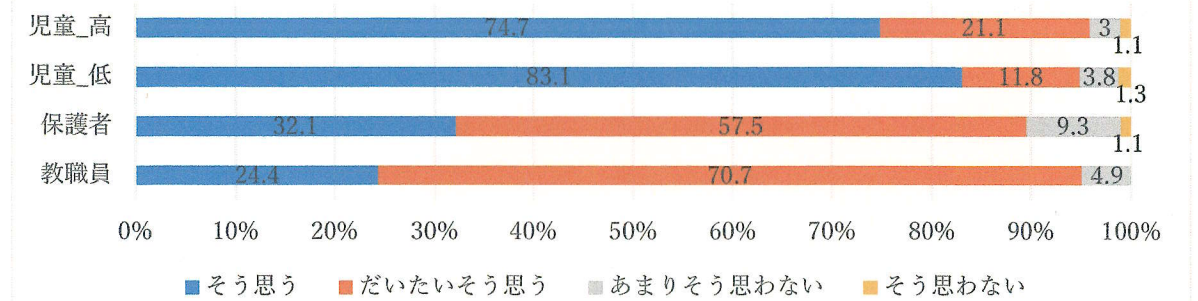
Q9. 自分は青信号でも左右を確認するなど交通安全に気をつけている。



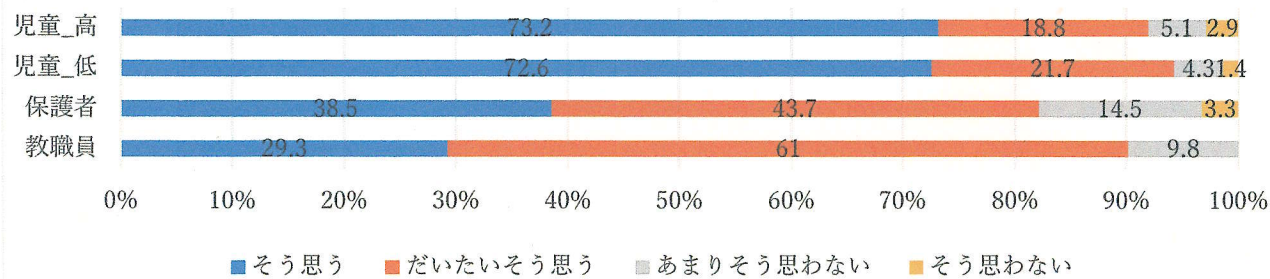
Q10. 自分は不審者にあった時の対応がわかっている。(いかのおすし等)



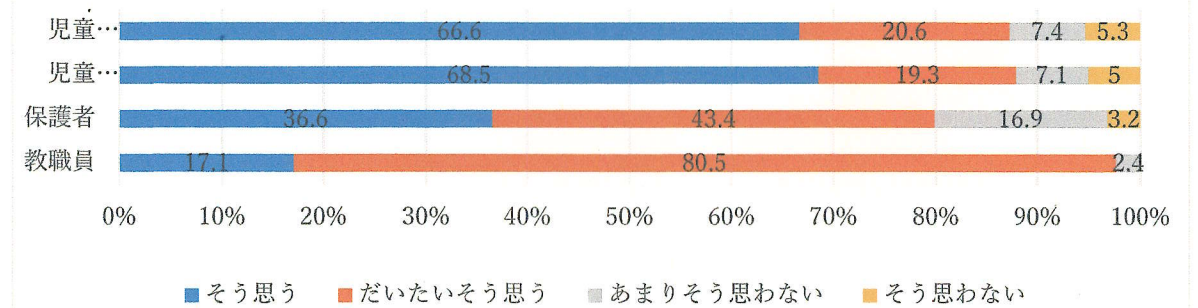
Q10. 自分は不審者にあった時の対応がわかっている。(いかのおすし等)



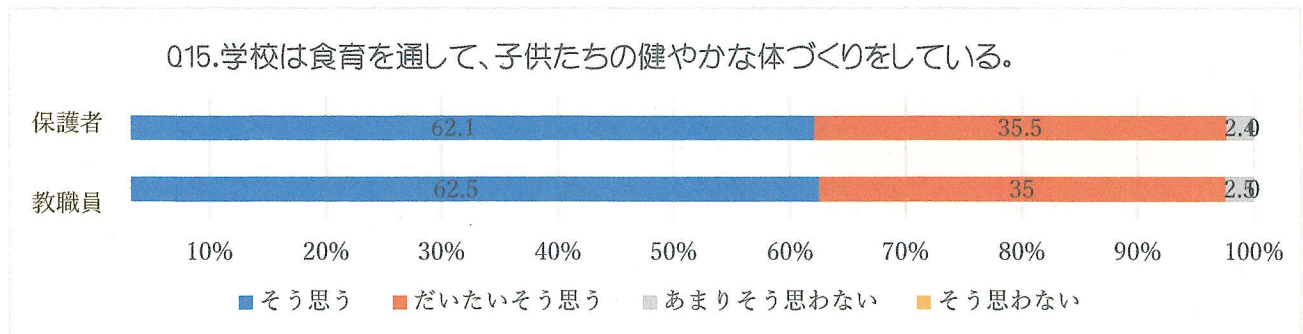
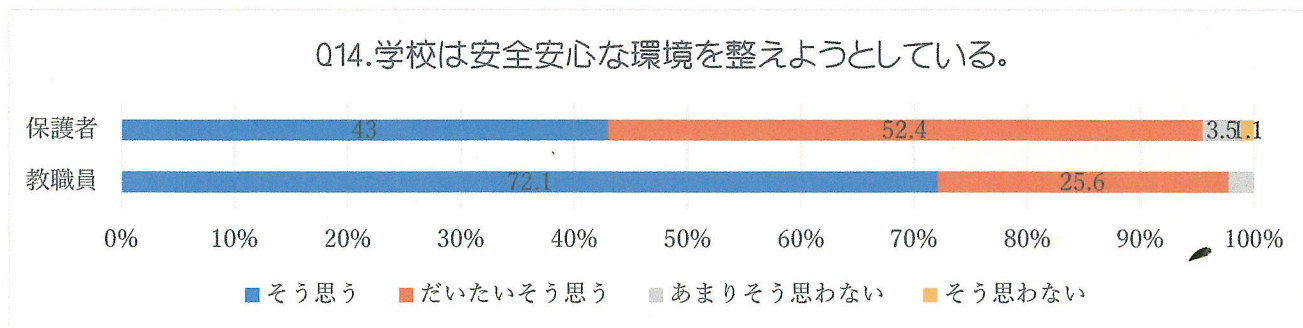
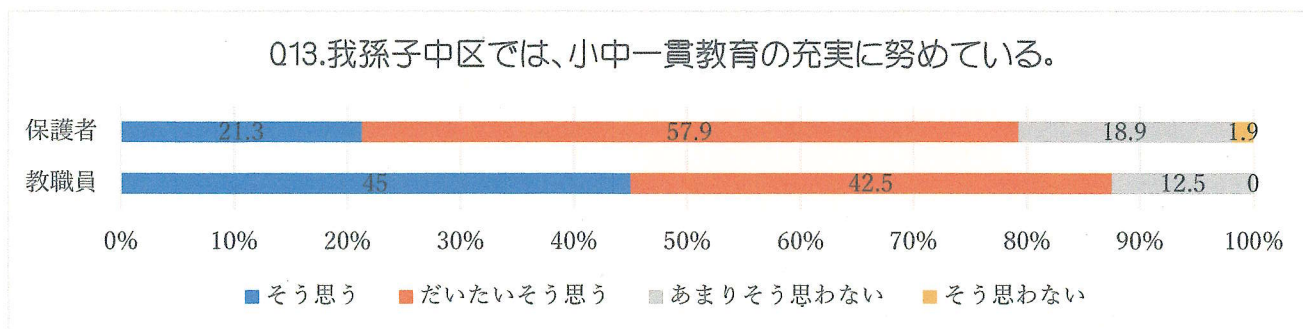
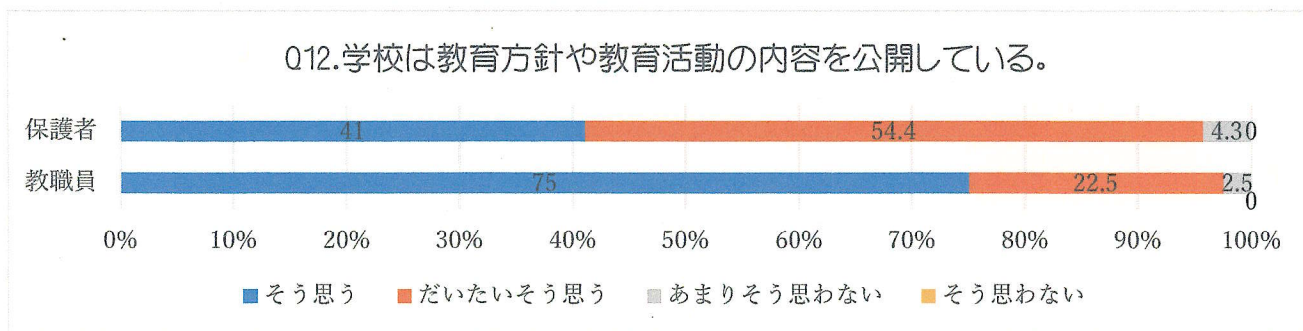
Q11. 自分は困ったときに相談できる大人が親以外にもいる。(教師や祖父母等)



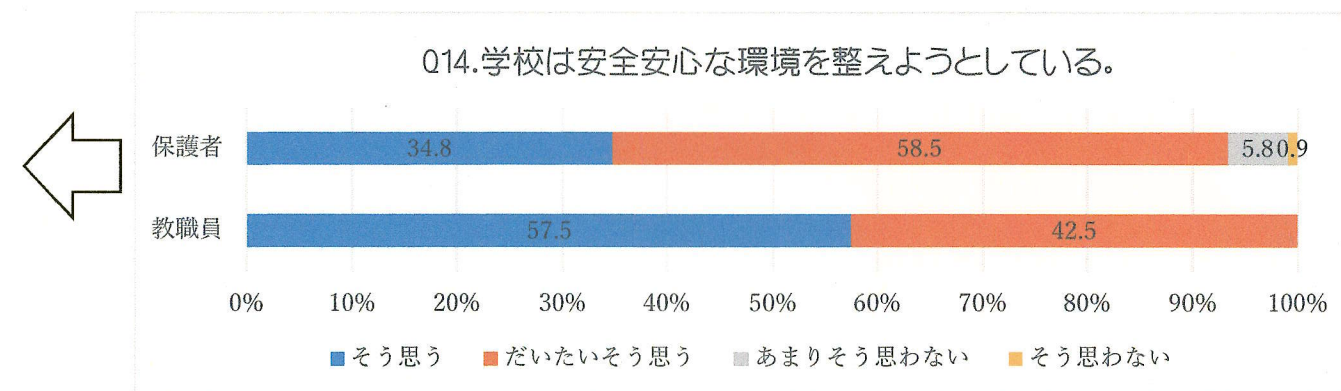
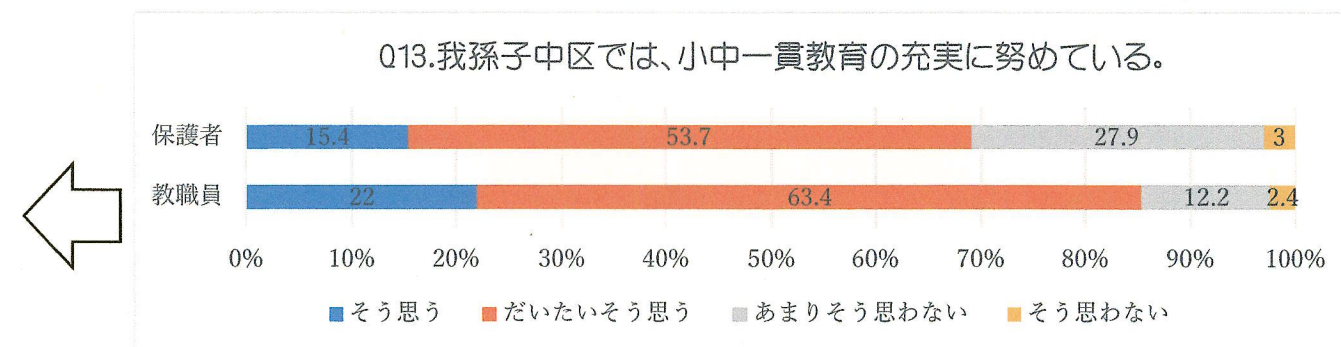
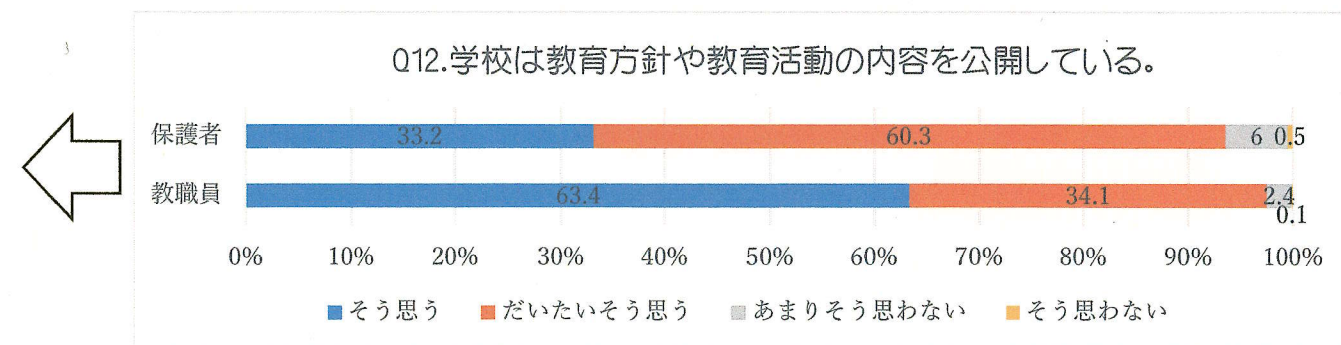
Q11. 自分は困ったときに相談できる大人が親以外にもいる。(教師や祖父母等)



【保護者と教職員のためのアンケート】

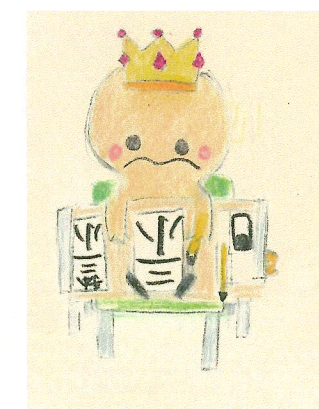
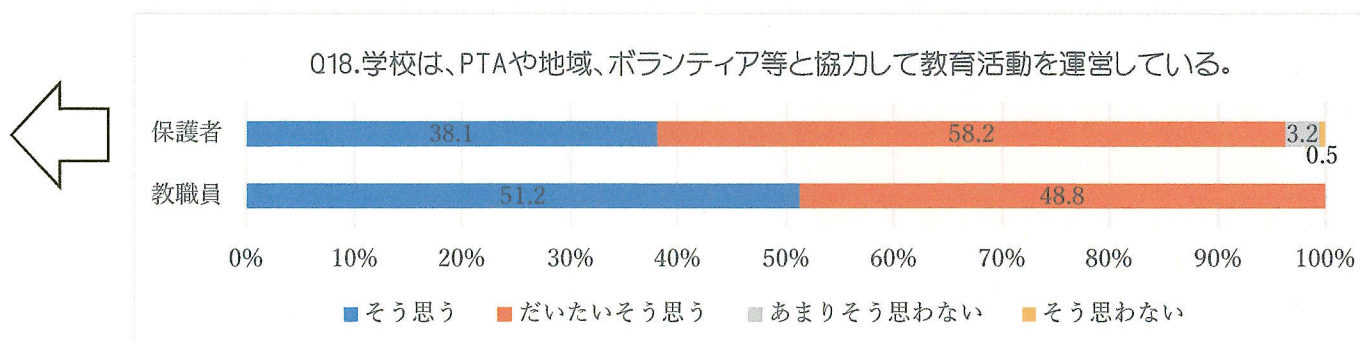
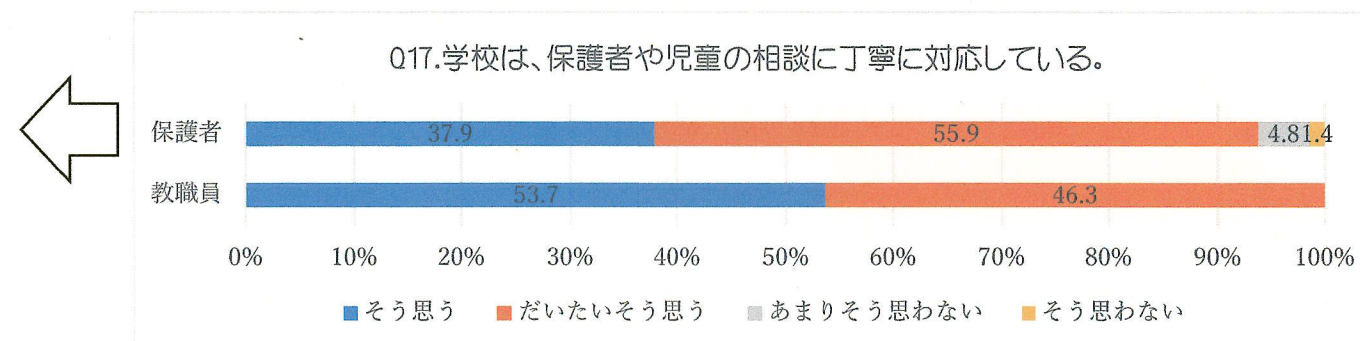
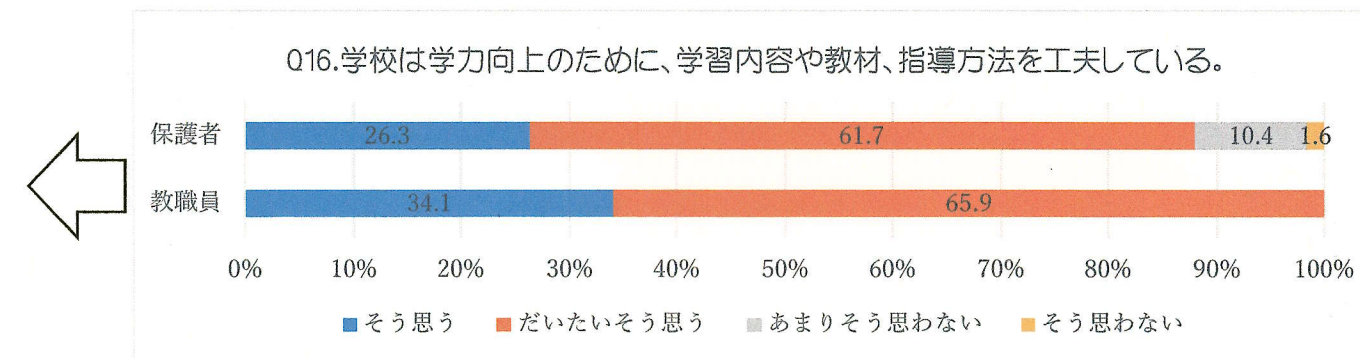
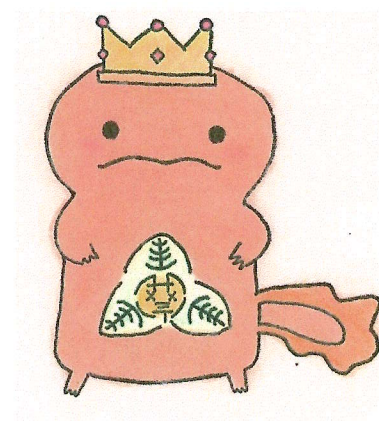
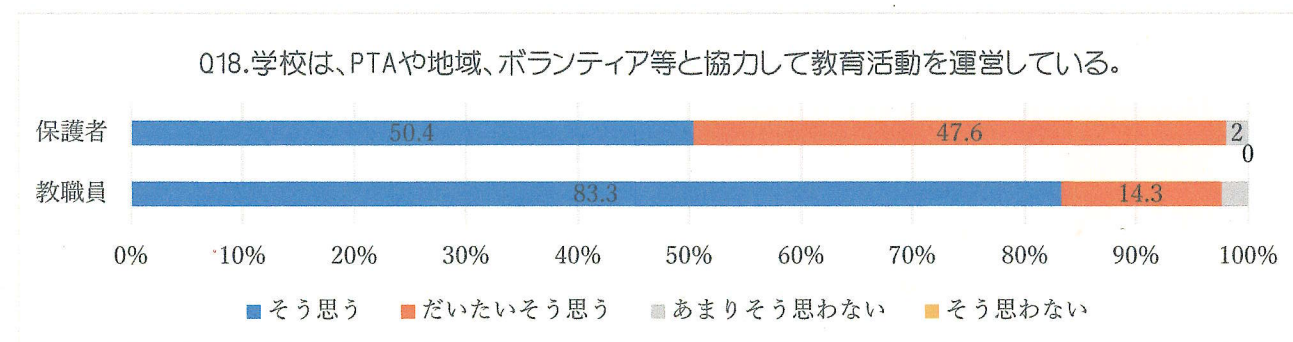
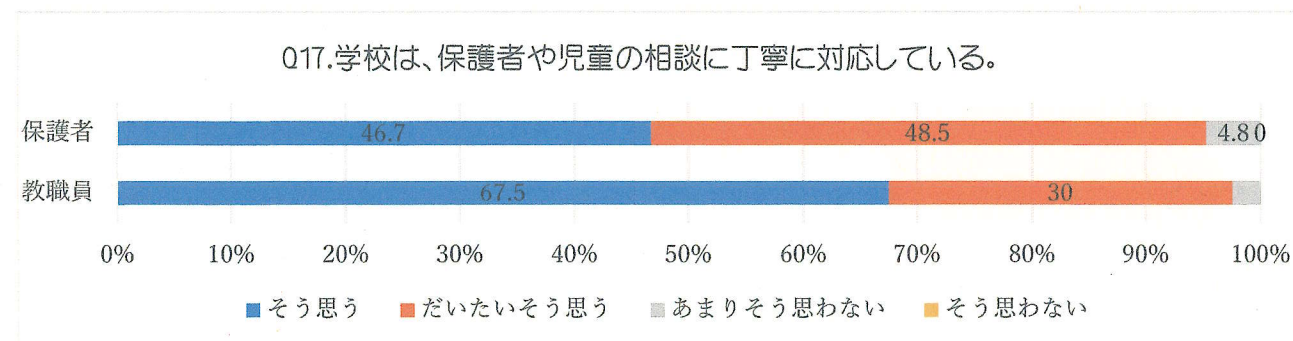
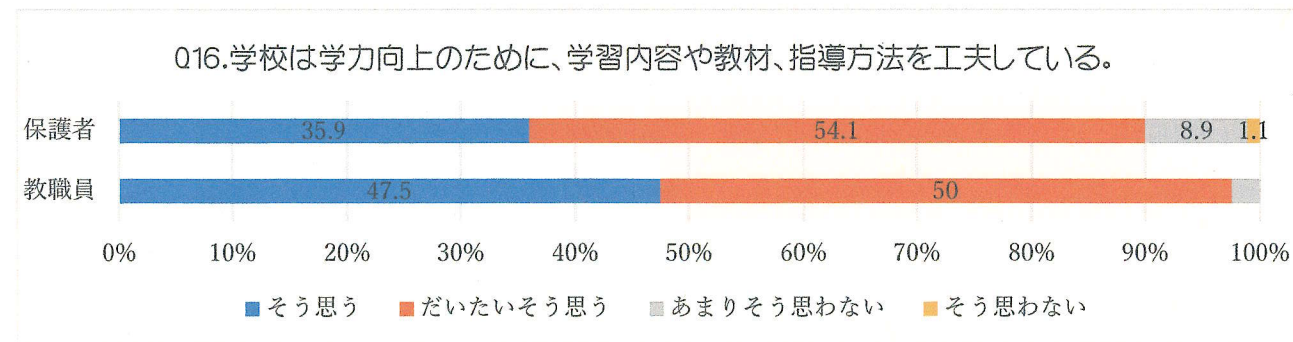


【保護者と教職員のためのアンケート】



Q15. なし(R6 新設の項目)





学習について

令和4年度から3年計画で算数科研究を中心に「わかる楽しさ、できる喜びを感じ、主体的に学ぶ児童の育成」を研究テーマとして研究を重ねてきました。また若年層教員を中心とした自主研修により、教職員の指導方法を工夫し、日々の授業改善を進めてきました。

その結果、Q5～Q7における、児童の学習に関する興味関心や基礎学力の定着や表現力の高まりに関する項目の数値が、昨年度と比較して肯定的な意見が増えています。また、Q8の読書活動に関する項目についても、肯定的な意見が増えています。これは、学校における読書活動の推進だけではなく、保護者ボランティアの皆さんによる「ひょうたんから本^o」の活動等を計画的に実施しているおかげです。

そして、同様に、上記の項目及びQ15において、教職員と保護者の肯定的な意見が増えています。これは、教職員が日々の授業改善の努力を行えば、児童は学習に意欲的に取り組み確かな学力を身につけ、その結果に対して、保護者の皆様の学校教育への理解が深まる、という相乗効果であると考えます。また、保護者の皆様のご家庭の教育力と本校教育へのご支援の力も大きいと感じます。例えば、今年度から、「サンサン検定丸つけボランティア」も新たに立ち上げ、多くの皆さんに協力をいただきました。今では、多くの児童が、意欲的に主体的にサンサン検定に取り組み、基礎学力の定着が図られています。

このように、学校と家庭が力を合わせて、これからも確かな学力を育む学習を充実させていきます。

生活・安全・安心について

生活・安全・安心に関わるQ9～Q11、Q14、Q15の項目において、昨年度と比較して、児童、職員、保護者の肯定的な意見が増えています。

これは、生活面、安全面、安心面に関する教育活動の積み重ねによる成果であると考えます。

火災・地震・不審者などの避難訓練は、年間を通して定期的に行っており、防災・防犯意識を高めています。今年度は、保護者の皆様と連携した引き渡し訓練の取組も行いました。さらに、来年度は中学校区規模での避難訓練を実施し、地域全体の防災意識の向上を図っていく予定で、計画を進めています。

また、学校外での怪我や事故等についても、日々の安全教育の中で、子供たちに自分の安全を自分で守る力を身につけられるよう取り組んできました。さらに、来年度は、交通安全教室の実施やSNS活用に関する情報モラル教育出前授業の実施等を通して、児童の安全・安心を守るための教育活動を充実させていきます。学校だけではなく、保護者や地域の皆さんにも、登校時の見守り活動や様々な学習時の安全見守り活動に、PTA活動やボランティア活動の中でご協力いただきました。児童の安全・安心を守るためには、学校と家庭と地域が力を合わせて取り組むことが不可欠であると強く感じています。

一方、Q3、Q4のあいさつやルールを守って生活することに関する項目に関しては、昨年度と比較して、やや肯定的な回答が減っている傾向にありました。この結果から、今後も、子供たちの生活・安全・安心のために、あいさつの良さや大切さについての継続した指導を行うとともに、廊下歩行や時間を

守って行動すること等、基本的な生活習慣について、丁寧に指導を続けていく必要性を感じました。丁寧な指導とは、「児童はこうあるべきだからこうなさい」と決めつけることではなく、児童の主体性や多様性を十分に尊重した上で、指導が必要な事柄についてはしっかりと理由を説明した上で、わかりやすく丁寧な言葉で伝えていくことです。

そして、教育相談体制を充実させることや教職員の子供たちに対する指導や声かけの方法を工夫すること、ご家庭への連絡・情報提供を適切に行っていくことは安全で安心な学校生活につながっていきます。学校へ相談をしたい場合、担任はもちろん、それ以外の職員も、皆、児童のよりよい成長を願う大人です。遠慮なく相談をしてほしいと考えています。そのために、心の教室相談員やスクールカウンセラー等の相談窓口の周知を更に図り、効果的な活用を進めていきます。校内教育支援センター「お日さまルーム」も、児童の安心、安全な学校生活の一助のために、今年度から設置されています。また、教育相談期間を今後も効果的に活用し、ご家庭と学校との連携を密にしていきたいと思います。

教職員の子供たちに対する指導や声かけの方法については、全ての教職員がどの学級においても、同一のスタンダードで、丁寧に伝わりやすい方法で対応することができるよう、また、互いの指導の在り方について遠慮なく声をかけ合って工夫・改善していけるよう、校内研修の充実を図ったり、教職員が管理職に相談をしやすく学年単位で教職員同士が声をかけ合える職場風土の醸成に努めたりしてまいります。

また、今年度は、インフルエンザの大流行により、2学期末の時期に、複数学級の閉鎖を余儀なくされました。その際には、保護者の皆さんに仕事の面での工面をつけていただいたり、お子さんの体調管理に配慮をいただいたりと、多大なるご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。学級閉鎖が決定してから、それをご家庭にお伝えするにあたっては、どうしても前日の判断となります。その際には、その学級にあててスクリーンと紙媒体の配付をしております。今後も緊急の判断を要する場合には、同様の対応をいたしますので、ご理解とご協力をお願いします。

また、Q12の学校から家庭に対する情報公開の項目については、昨年度と比較して、教職員も保護者も、肯定的な意見が多くなっています。これは、日頃の学級での出来事を、各担任が家庭に密に連絡をとり情報共有を図っている成果と考えます。でも、その情報共有がおろそかになってしまった時に、保護者の皆さんに、児童の安心・安全が守られていないと感じさせてしまう結果となります。そのようなことのないよう、今後も、家庭への丁寧な連絡を心がけてまいります。

また、学校で行われている教育活動を、より多く深く知っていただきたく、今年度も学校ホームページのこまめな更新を心がけてまいりました。そして、児童の活動の様子を中心に、その様子の裏側で児童を支える教職員、保護者の皆さん、地域の皆さん等の、人の思いに焦点を当てて紹介することを心がけました。今後も、更に、わかりやすく教育活動の内容や関わる人の思いを伝えていけるよう、工夫改善をしてまいります。

学校行事について

学校行事につきましては、保護者の皆さんや地域の皆さんのご理解により、予定行事を成功裏に終えることができました。

運動発表会については、低・中・高学年の学団単位で実施をし、学年の異なる子供たち同士が演技を見合い、高め合う機会を設けて実施しました。また、今年度は引き渡し訓練も実施することができました。音楽フェスタについては、2部制にして他学年の歌声も保護者の皆さんに聴いていただくことができました。また、当日参加できなかった保護者の方へも歌声を届けるために、動画配信を行う等の工夫をしました。音楽フェスタは、今年度より平日実施としました。休日に音楽フェスタを実施してほしいというご意見もいただきましたが、週に6日間連続で通学するとなると負担に感じる児童もいること、休日は子供たちが家庭で過ごし社会体験を積む大切な機会として確保する必要性、休日の給食提供に関する課題、学校の働き方改革等を総合的に勘案し、今後も音楽フェスタは平日に実施したいと考えています。学習参観については、今年度は、全て予定通り実施することができ、子供たちの学校での様子をご参観いただけましたことを嬉しく思います。あわんとりにについては、保護者や地域の皆さんの力を借りて、盛大に実施をすることができました。

学校行事の在り方については、これまでの検討によって三小のスタイルが確立されてきたことに沿いつつ、よりよい方法を検討しながら実施をしてきました。

例えば、運動発表会については、従来の運動会の形式で全校一斉で行いたい、という声もいただいておりますが、運動発表会後の保護者アンケートからは、「運動発表会の運営を通して、子供たちが生き生きと活動し、健やかな成長が見られた」「運動発表会の形式においても、学年や学級で協力し合い、団結力を高めていく姿が見られた」「保護者や地域の皆さんにゆとりをもって参観いただけた」「日常の体育の学習の中で練習時間を確保しやすく、児童の演技の完成度を高めることができた」「熱中症防止対策が十分にできた」という声が9割を超えています。このような状況を鑑みて、今後も運動発表会の形式での実施を考えております。

このように、学校行事の在り方については、学校として「子供の成長」を中心に据えて熟議をし、その結果を責任をもって保護者の皆さんにお示しをしていきたいと考えます。そして、その中で工夫改善できる部分については、今後もしっかりと検討を行い、よりよい学校行事を創っていきたいと考えています。

地域学校協働活動・PTA 活動について

三小は、正に「地域とともにある学校」です。我孫子市内全市でコミュニティ・スクールを実施していますが、三小は、その中でも推進の中心校であることを自負しております。それは、ひとえに、「PTA役員」「地域学校協働活動推進員」「学校運営協議会委員」といった、学校と保護者と地域をつなぐ中心的な役割を担うメンバーの方々の日々の尽力のおかげです。

そして、そのメンバーの皆さんを中心として、主体的な保護者と地域と学校の協働的な活動を支えるべく、多くの保護者や地域の皆さんが学校教育に多大なる協力をいただいています。Q18の学校と保護者と地域との連携に関する項目は、教職員、保護者ともに、実に98%が肯定的な回答をしています。

推進にあたっては、仕事をもつ家庭が増える中、仕事を工面してPTAやボランティア等の活動に参加してくださっている保護者の皆さんも多いことと思います。学校としましては、そのような心意気一つで、子供たちの為に力を尽くしてくださる保護者の皆さんへの感謝の気持ちをもって今後の教育活動の推進にあたりたいと考えます。そのために、「学校で出会った保護者や地域の皆さんに教職員が気持ちのよい挨拶をする」「PTA役員の方と学校とのやりとりを密にし、更に協働しやすい学校風土を醸成する」等の方法で、よりよいPTA活動・地域学校協働活動を目指してまいります。

その他

各学年の学級数については、国及び県の基準に従って、在籍児童数によって決定しております。

なお、学級編成の基準は、1～6年生までの通常学級（特別支援学級在籍児童を除く）が1学級35人、特別支援学級が1学級8人です。そのため、転出や転入の情報については、その都度、学校へ連絡をお願いします。